

日本キリスト教団 仙台青葉荘教会

週報 (簡素版)

〒980-0012

仙台市青葉区錦町 1 丁目 13-48 Tel 022-222-3855

2021年3月28日

受難節第6主日礼拝順序

司会：松木 姉

奏楽：小野寺 姉

説教：潮 義男牧師

前 奏

招 詞

イザヤ書 57 章 18, 19 節

讚美歌

142 (1, 5 節)

主の祈り

使徒信条

聖 書

ヨハネによる福音書 19 章 28~42 節

説 教

「死にて葬られ」

祈 り

潮牧師

聖 歌

458 (1, 2 節)

祈 禱(ネット配信を聴取されている方、及びこの週報で礼拝をされる方はお祈りください)

頌 栄

541

祝 禱

次週予告 (4月4日) 復活節第一主日礼拝 (イースター礼拝)

司会 高橋 姉 奏楽 熊谷 姉

招詞 詩編 91 編 1, 2 節

讚美歌 146 (1, 4) 聖歌 126 (1, 4)

説教 復活

聖書 ヨハネ 20 章 1~18 節

説教要約

2月17日よりレントに入り、主のご受難と十字架の死を覚える日々を過ごしてまいりました。本日より、受難週に入ります。

イエス様はユダヤの指導者である祭司たちとファリサイ派の人たちによって捕縛され、裁判にかけられます。ゲッセマネから最高法院そしてピラトの法廷です。その裁判は、一方的でしかも暴力的でした。殴られ、侮辱され、鞭打たれ、唾を吐きかけられ、ののしられるのです。神の子が人間によって、辱めを受けます。そして、ゴルゴタにて十字架につけられるのです。

1. 十字架上の7つの言葉

十字架につけられたイエス様は7つの言葉を話されます。いわゆる、「十字架上の7つの言葉」とされます。マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの4つの福音書にそれぞれ記されています。話すというより、ささやく、とぎれとぎれに声を発せられる。そういうことでしょう。両手にくぎを打ち込まれているのですから、痛みを耐えながら声を発せられるのです。七つの言葉、次の通りです。

(1) 「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです」

(ルカ 23:34)

(2) 「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」

(ルカ 23:43)

(3) 「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」

「見なさい。あなたの母です」(ヨハ 19:26、27)

(4) 「エリ、エリ、レマ、サバクタン」(マタ 27:46。マコ 15:34。詩 22:2)

(5) 「渇く」(ヨハ 19:28)

(6) 「成し遂げられた」(ヨハ 19:30)

(7) 「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます」(ルカ 23:46。詩 31:6)

2. 預言の成就

この後、31 節から 37 節は、マタイ、マルコ、ルカにはない聖書の箇所です。そこに目撃したものでなければ書けない事柄です。ここでは、二つの特徴のある箇所があります。

一つは、足の骨を折るということです。二つ目は、兵士が槍でイエス様のわき腹を刺したのです。すると、すぐ血と水とが流れ出たとあります。

聖書は、この二点においても聖書の記事が実現したと記しています。「その骨は一つも砕かれない」は、出 12:46、民 9:12、詩 34:21 のことばです。

もう一つは、「彼らは、自分たちの突き刺した者を見る」です。これは、ゼカリヤ 12:9 です。イエス様の十字架の死は、聖書の預言の成就なのです。父なる神のご計画なのです。